

ファスナー選び編

ファスナー選びのチェックポイント

- step 1 エンドを決める
- step 2 エLEMENTの素材と大きさを決める
- step 3 テープカラーを決める
- step 4 スライダーを決める
- step 5 長さとお本数を確定する



機能面とデザイン面を考慮

ファスナーを選ぶには、機能的に選ぶ部分とデザイン的に選ぶ部分とに分かれます。

- 1 ファスナーのエンドの部分がオープンエンドなのか、クローズエンドなのか、これは使う箇所により決まります。ブルゾンのフロントならオープンエンドで、ポケットやパンツのフロントエンドに使うならクローズエンドです。
- 2 ファスナーのエLEMENT(務歯)という歯の部分の素材とサイズを選びます。ここはデザイン的要素と機能面どちらも加味します。素材は大きく、金属(メタル)、プラスチックのビスロン、コイルがあります。ELEMENTのサイズは数字が小さいほど、一つひとつのELEMENTが小さくなります。一般的に No.3 から No.10 まで5~6種類あります。

専用に使われるファスナーもあります。ジーンズなど洗い加工をする場合は YG や YN といった頑丈にできた Yジップを使います。ワンピースやスカートの見えなくなるファスナーはコンシールファスナーを使います。

注意ポイント: スライダーのロック機能

スライダーにはロック機能があるものとないものがあります。ロック機能があるものは、スライダーの引き手部分を引っ張ることでロックが解除され、スライダーが動きます。一方、ノンロックのスライダーは引き手を引かなくてもファスナーが開きます。パンツのフロントなどにはロック機能が付いたファスナーを使う必要があります。YKKの場合、スライダーの型番の2桁目がロック機能を表しています。2桁目がA、N、Sはロック機能があります。Fはロック機能がないのでオープン使いやフロント使いには不向きです。

スライダー No.の2桁目

例: D①D R 4

A...オートマチックロック

N...ノッチロック

S...セミオートマチック

F...ノンロック(ロックなし)

- 3 ファスナーのテープカラーはファスナーカラーカードから選びます。テープカラーを身生地の色に合わせるかどうかデザイン性で選びます。
- 4 スライダーはスライダーカタログから選びます。スライダーは基本的にデザイン性で選べますが、注意しなければならないのがロック機能です。注意ポイントを参考にしてください。
- 5 ファスナーの長さとお本数を確定します。長さに関してはパターンから出てくる長さになります。

ファスナーは基本的に受注生産で、縫製の工程上は早い段階で必要になります。発注時期、数量、タイミングにもよりますが、サンプルで2週間、量産で1ヶ月ほど掛かると考えてください。急ぎの場合の対処方法はいろいろありますが、納期に余裕を持っておくと、デザイン的にも妥協せず、コスト的にも有利なものづくりを進めることができます。